

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	エネルギー構造高度化に向けた公共施設 F S 調査及び理解促進事業											
補助事業者名	那珂市											
補助事業の概要	理解活動拠点化を志向した公共施設への再エネ設備導入調査を行うとともに、再エネ導入加速化に向け、若年層を中心としたイベント・講座の実施による理解促進事業を実施する。											
総事業費	8, 9 3 0, 0 0 0 円											
補助金充当額	8, 9 3 0, 0 0 0 円											
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	<table><tr><th>指 標</th><th>成果目標</th><th>備考</th></tr><tr><td>環境・エネルギー問題の理解と行動変容</td><td>80%以上 (令和 4 年度 59.55%)</td><td>第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%に向けて、段階的アップとして 80%に設定</td></tr></table>	指 標	成果目標	備考	環境・エネルギー問題の理解と行動変容	80%以上 (令和 4 年度 59.55%)	第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%に向けて、段階的アップとして 80%に設定					
指 標	成果目標	備考										
環境・エネルギー問題の理解と行動変容	80%以上 (令和 4 年度 59.55%)	第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%に向けて、段階的アップとして 80%に設定										
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	【理解促進事業(中学校でのエネルギー講座)実施後のアンケート結果】 ・「使っていない部屋の電気は消す」実施割合 A 校 : 93%、B 校 : 98% ・「エアコンは冷やしすぎ、暖めすぎないで使う」実施割合 A 校 : 85%、B 校 : 85% ・「冷蔵庫のドアは開けたら閉める」実施割合 A 校 : 96%、B 校 : 94%											
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	<table><tr><th>指 標</th><th>成果目標</th><th>比較基準</th></tr><tr><td>太陽光発電システム導入</td><td>令和 12 年度 23.4% (令和 5 年度 18.0%)</td><td>前述の地域脱炭素ビジョン策定時における市民アンケートの質問「ご家庭の脱炭素化に向けた設備の導入状況」のうち、太陽光発電システムの「導入実績あり」を選択した割合(18%)に対して、地域脱炭素ビジョンに掲載されている再エネ導入計画(2030 年度までに設置可能な既設・新築住宅 30%に導入)に基づき、30%増加</td></tr><tr><td>環境・エネルギー問題の理解と行動変容</td><td>令和 12 年度 100% (令和 4 年度 59.55%)</td><td>第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%</td></tr></table>	指 標	成果目標	比較基準	太陽光発電システム導入	令和 12 年度 23.4% (令和 5 年度 18.0%)	前述の地域脱炭素ビジョン策定時における市民アンケートの質問「ご家庭の脱炭素化に向けた設備の導入状況」のうち、太陽光発電システムの「導入実績あり」を選択した割合(18%)に対して、地域脱炭素ビジョンに掲載されている再エネ導入計画(2030 年度までに設置可能な既設・新築住宅 30%に導入)に基づき、30%増加	環境・エネルギー問題の理解と行動変容	令和 12 年度 100% (令和 4 年度 59.55%)	第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%		
指 標	成果目標	比較基準										
太陽光発電システム導入	令和 12 年度 23.4% (令和 5 年度 18.0%)	前述の地域脱炭素ビジョン策定時における市民アンケートの質問「ご家庭の脱炭素化に向けた設備の導入状況」のうち、太陽光発電システムの「導入実績あり」を選択した割合(18%)に対して、地域脱炭素ビジョンに掲載されている再エネ導入計画(2030 年度までに設置可能な既設・新築住宅 30%に導入)に基づき、30%増加										
環境・エネルギー問題の理解と行動変容	令和 12 年度 100% (令和 4 年度 59.55%)	第 3 次那珂市環境基本計画掲載の環境アンケート(中学 2 年生対象)質問「エアコンを弱めにしたり、照明をこまめに消したりする電気の節約」に「取り組んでいる」を選択した割合 (59.55%) に対して、令和 12 年度 100%										

事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況 【任意】	【太陽光発電システム導入】 令和6・7年度は同様の調査を行っていない。令和12年度までに、市民アンケート等に設問を設け、達成度合いを調査する予定。 【環境・エネルギー問題の理解と行動変容】 令和7年度理解促進事業（中学校でのエネルギー講座）実施後のアンケート結果は以下のとおり。 ・「使っていない部屋の電気は消す」実施割合 A校：93%、B校：98% ・「エアコンは冷やしすぎ、暖めすぎないで使う」実施割合 A校：85%、B校：85% ・「冷蔵庫のドアは開けたら閉める」実施割合 A校：96%、B校：94%	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	地域脱炭素及び地域理解促進に関する豊富な経験と専門的な知見による効果的・効率的な事業実施のため。
	契約の方法	公募型プロポーザル方式
	契約の相手方（間接補助先）	一般財団法人 電源地域振興センター
	契約金額（間接補助金額）	8, 930, 000円
来年度以降の事業見通し	本市で最も導入ポテンシャルの高い太陽光発電設備及び蓄電池等を公共施設に設置することにより、電力自家消費による脱炭素化促進・レジリエンス強化を図ることはもとより、行政の率先行動及び当該施設での理解促進活動により、市民や地域事業者への普及啓発及び導入を促進し、エネルギーの地産地消による市内経済活性化と活力向上を図る。 また、再生可能エネルギーの導入により抑制されたコストを、市が実施するエネルギー政策（那珂市自立・分散型エネルギー設備導入促進事業費補助金、各種イベントでの情報発信、次世代へのエネルギー教育など）の費用に充当させることで、市域全域の具体行動を促しながら、エネルギー構造高度化に資する地域振興事業を促進することを目指す。	

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。

- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。